

金総額の3パーセント以上を市が出資することが法定要件となつていことから、今後、商工会議所や地元商業者の皆さんとの協議が整った段階で、議会に諮りしたいと考えています。

◆連続立体交差事業 全市民を対象に事業の周知を図るため、7月25日と27日に事業主体である千葉県と市、東武鉄道の3者による説明会を開催しました。

説明会には、25日が123名、27日は139人の合計262人の参加をいただき、事業概要を説明しました。なお、今年度は、仮線などに係る用地の測量や物件の調査などに入る予定で、説明会でも鉄道沿線にお住まいの方や地権者の方などにご協力をお願いしました。

### 持続可能な農業施策の確立と食の安全の確保

◆もみ殻の収集 早期の収集を希望する農家が多いことから、今年度は試験的に車両3台で収集することにしました。

また、近くにもみ殻集積所があれば運んでもよいという意見もあることから、もみ殻の一時集積所の候補地の地権者と協議し、6か所の地権者と協議が調いましたので、農家組合長を通して農

家の皆さんにお知らせしました。◆食酢による水稲防除 柳耕地の水田を①食酢のみを散布、②農薬のみを散布、③食酢と農薬を散布の3つの区画に分けて試験を行いました。

食酢の散布は、今回は無農薬を目指すため、4回散布で実施しています。

病害虫の発生状況は、県農林振興センターと4回調査し、いずれの区画とも紋枯病発病株が数株見られたものの、平年並みの発生率であり、収穫量の減少などに繋がることはないという調査結果となります。

今後、食酢の有効性を野田市農業資材対策協議会で検証していく考えです。

◆ゆめあぐり野田 多くの市民の皆様のご利用をいただき、オープン後2か月目に当たる8月5日現在の販売状況は、売上額累計約2千69万5千円、1日平均約43万6千円で、当初の予想を上回り好調な販売状況です。

また、7月末からは「ゆうパック」による発送を始め、利用者の利便性の向上を図っています。今後、端境期に入り野菜の品数が少なくなることから、運営組合では、野菜生産者の新規加

入をはじめ、消費者の要望をどのように商品化していくかなども話し合いながら、より魅力的な直売所にしていきます。

### 新市建設計画の確実な実現

◆まめバス 運行開始からの利用者が7月11日に延べ130万人に達しました。

本年度の利用状況は、7月末日までの6ルート合計で、延べ12万951人、1日平均991人、1便平均12・1人です。

◆耐震補強工事 東部小学校の屋内運動場耐震補強工事は、基礎工事と外壁解体工事を終了し、現在は鉄骨ブレースを設置中で工期内完成に向けて鋭意施工中です。

また、地震防災対策特別措置法が一部改正され、3年間の制限措置としてI s値(※)が0・3未満の建物は、補助率のかさ上げなどがされますが、これまでに耐震診断を実施済みの校舎・体育館は、I s値が0・3未満の建物はありません。

しかし、耐震診断をしたとみなされる耐震化優先度調査の結果、優先度ランクの高かった宮崎小学校北校舎と福田第二小学校屋内運動場の耐震診断を実施

することとし、経費を今議会の補正予算に計上しました。

I s値が0・3未満の場合には、時限措置の適用を受けて前倒しで工事を実施していきます。※I s値とは、建物の耐震性能を表す指標です。

### 安全安心なまちづくりの推進

◆災害時要援護者支援計画 計画に基づいて個別避難支援計画を作成した10自治会に、未登録要援護者台帳の作成のために市職員による意思確認作業を行い、

9自治会81人の対象者に制度を説明したところ3人の方が支援を必要とすることで要援護者台帳に登録し、支援は必要ですが希望しない方1人を未登録要援護者台帳に登録しました。

それ以外の方は、家族の援助などがあり支援を必要としない方々でした。残る1自治会も、意思確認作業を進めています。調査結果による現時点での要援護者台帳に登録している方は11人です。

◆防災・防犯対策 今年度に入り新たに13の自主防災組織が設立され、8月1日現在14の自主防災組織となり、世帯数での組織率は35・8パーセントです。



災害時には地域の皆さんの協力を

自主防災組織の結成が進んだため、防災資機材などの購入経費の補助金を今議会の補正予算に計上しました。

防犯組合支部の傘下となる自主防犯組織の数は、8月1日現在318自治会(全自治会の83・9パーセント)で、さらに自主防犯活動の全市的展開を図るため組織化を推進していきます。

また、「野田市南部安全安心ステーション」(通称「まめぼん」)の4月から7月末日までの取扱件数は、延べ72件で、あわせて、防犯パトロール車2台で子どもたちの下校時刻に合わせ、延べ84日間、防犯推進員による防犯パトロールを実施しました。

### 都市基盤・生活関連施設の整備

◆土地区画整理事業 堤台地区